

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

令和5年9月25日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

令和5年9月25日（月）午後3時～午後3時50分 東庁舎1階101

2 出席者

総務課 齊藤課長、高瀬副主幹、苛原主任主事

3 件名

白井市DX推進指針の策定について

4 会議結果

- 案のとおり決定する。
- 一部修正の上、決定する。
- 継続して検討する。
- 案を否決する。
- 報告を了承する。

5 会議内容

- ・今年度からマイシティーレポート（市民協働投稿サービス）が導入されているが、DXを進める上では、災害時対策、外国人対策などについても、大変有効なので盛り込んでもらいたい。
- ・自治体戦略2040構想研究会の報告では、2040年頃を見据えた自治体行政の課題として、近年の出生数が団塊ジュニア世代の半分以下にとどまることから、従来の半分の職員でも自治体の役割が発揮できる仕組みを構築する必要性が語れている。実際どのようになっていくか分からないが、こうした重要な点も背景に盛り込むべきである。
- ・市役所職員には、市外在住者も多くなり、職場として選んでもらうためにも今後は、市役所にいないと仕事ができない環境ではなく、電子決裁などによりテレワークを進め、働きやすい職場環境を構築する必要がある。
- ・指針の位置付けが分かりづらいので、整理した方が良い。
- ・全体の構成や文言の整理をするほか、用語解説、計画期間などを入れるべき。

→内容を再度検討することとした。

備考 会議内容を簡潔に記載すること。

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 総務部 総務課

件名	白井市DX推進指針の策定について					
計画の概要	<p><b>【背景・趣旨】</b>                  行政のコロナ対応において、オンライン申請できないことやシステム・業務プロセスがバラバラで非効率であることなど、様々な課題が全国で明らかになった。こうしたデジタル化の遅れに対処するだけでなく、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体の「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」が求められている。                  白井市においても、デジタル技術を活用し、市民サービスの向上、市役所業務の効率化を図り、白井市の魅力をもっと向上させるべく、本指針を定めるもの。</p> <p><b>【DX推進ビジョン】</b>                  『デジタルでもっと便利な白井市へ』                  ○市民サービスのDX                  「デジタルを活用し、電子申請サービスや市民窓口負担の軽減、SNSなどの情報発信などに取り組む」                  ○市役所業務のDX                  「デジタルを活用し、国のシステム標準化・共通化対応、定型業務の効率化、AIの活用などに取り組む」                  ○地域社会のDX                  「デジタルを活用し、市で保有する情報の利活用、地理情報システムの活用などに取り組む」</p> <p><b>【DXを推進する上での視点】</b>                  「BPRによる事業展開」「トライ&amp;デバッグ」「優先順位を付けた事業の実施」「ペーパーレスの推進」「働きやすい職場環境」「SDGsの推進」</p>					
論点(決定を要する事項)	白井市DX推進指針の策定の可否について					
部内会議や関係課等との調整結果(主な意見・懸案事項)	<p><b>【部内会議】</b>                  ・具体的な取組について、企画政策課、財政課と調整の上、予算編成における「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の活用、及び各課との調整による着実な事業展開を行うこと。</p> <p><b>【各課との調整】</b>                  ・別添資料参照</p>					
今後のスケジュール	R5.9月 指針に基づく事業の展開					
	項目	有無	方法(時期)	項目	有無	方法(時期)
	条例規則	無		報道発表	有	定例記者会見(R5.11月)
	議会説明	有	議会運営報告(R5.10月)	広報・HP等	有	HP(R5.9月)
	市民参加	無				
付議書公表	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分非 <input checked="" type="checkbox"/> 時限非 ( R5年9月 まで)					
参考情報	関係法令等	デジタル改革関連法、デジタル手続法、官民データ活用推進基本法				
	関係課	各課				
	事業費	千円 (うち特定財源 千円)				
	カテゴリー	年代	全ての年代	場所	市内全域	目的

23/9/19戦略会議

(案)

# 白井市DX推進指針

(デジタル・トランスフォーメーション)



令和5(2023)年 月

白井市総務部総務課

# 目次

● 指針策定の背景	・・・ 3
▪ これまでの変遷	・・・ 6
▪ 職員アンケート調査結果	・・・ 8
▪ 指針の位置付け	・・・ 10
● 白井市DX推進ビジョン	・・・ 11
▪ 市民サービスのDX	・・・ 12
▪ 市役所業務のDX	・・・ 13
▪ 地域社会のDX	・・・ 14
● DXを推進する上での視点	・・・ 15

【参考資料】マイルストーン(工程表)

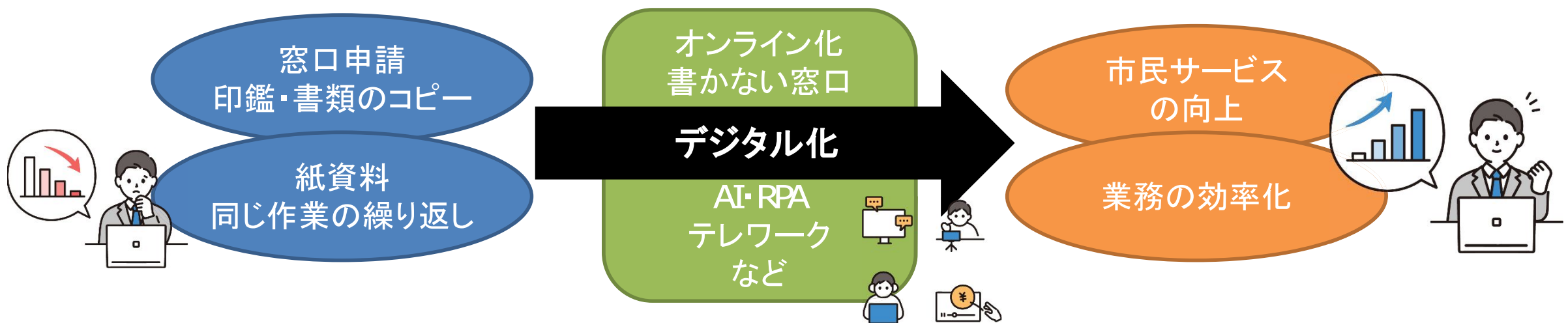
## 指針策定の背景

スマートフォンやパソコンなどのICT(情報通信技術)は、めまぐるしい進歩を遂げ、市民生活に大きな影響を与え、民間企業による各種サービスは、より早く、より便利に対応してきました。

一方、行政におけるデジタル化は、社会全体から大きく遅れを取っており、新型コロナウイルス感染症の対応において、オンライン申請できないことやシステム・業務プロセスがバラバラで非効率であることなど、様々な課題が全国で明らかになりました。

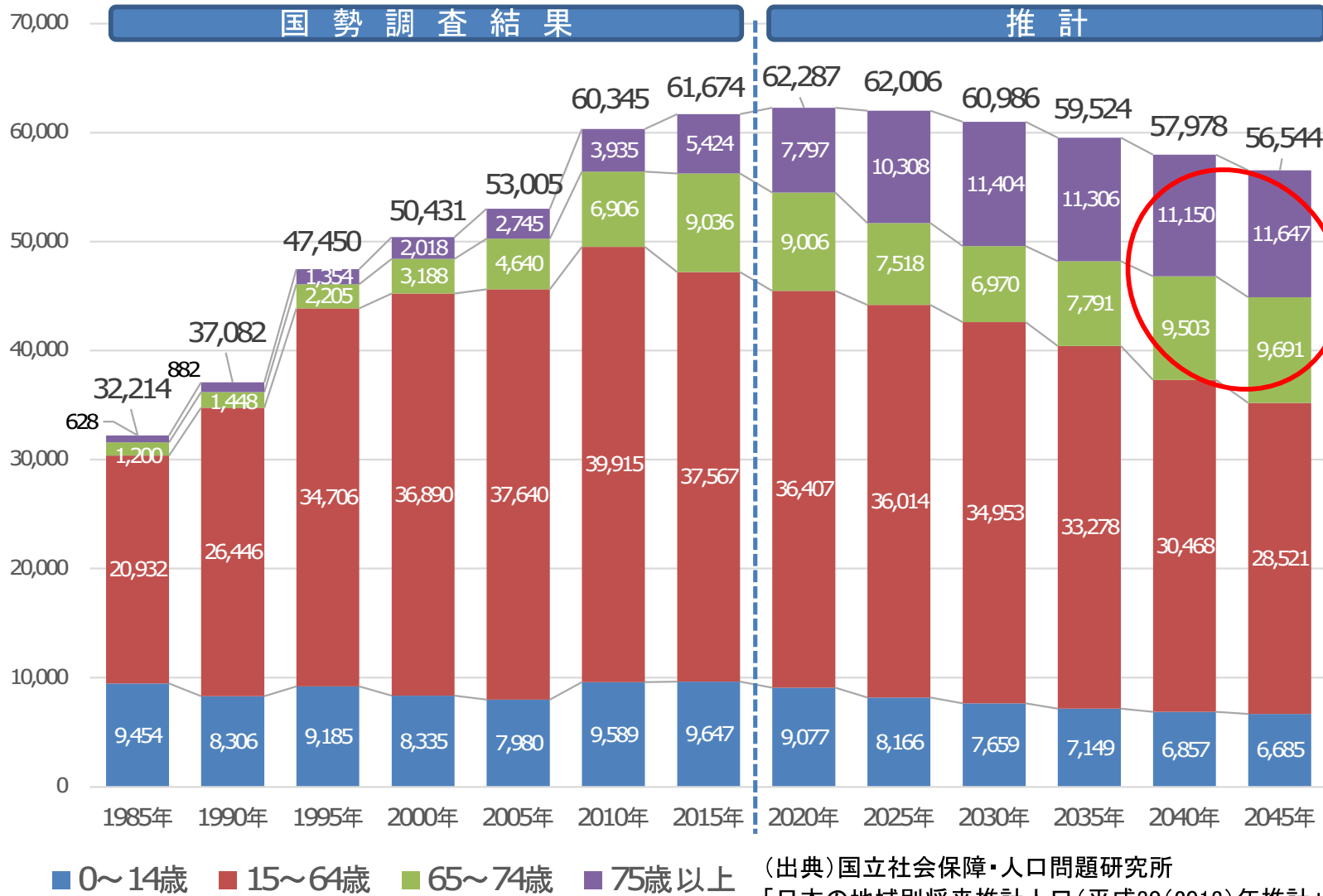
こうしたデジタル化の遅れに対処するだけでなく、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、言わば社会全体の「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」が求められています。

本市においても、デジタル技術を活用し、市民サービスの向上、市役所業務の効率化を図り、白井市の魅力をもっと向上させるべく、本指針を定めるものです。



# 指針策定の背景

## 人口の見通し (国勢調査人口ベース)



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

白井市の人口は、千葉ニュータウン開発に伴って急増し、2018年(平成30年)まで増加傾向をたどってきましたが、2018年(平成30年)から減少に転じました。

国立社会保障・人口問題研究所が出した白井市の推計人口では、今後長期的な人口減少が続くとともに、2040年以降に65歳以上の高齢者が大幅に増え、医療費や介護サービス費といった社会保障費の増加が見込まれます。

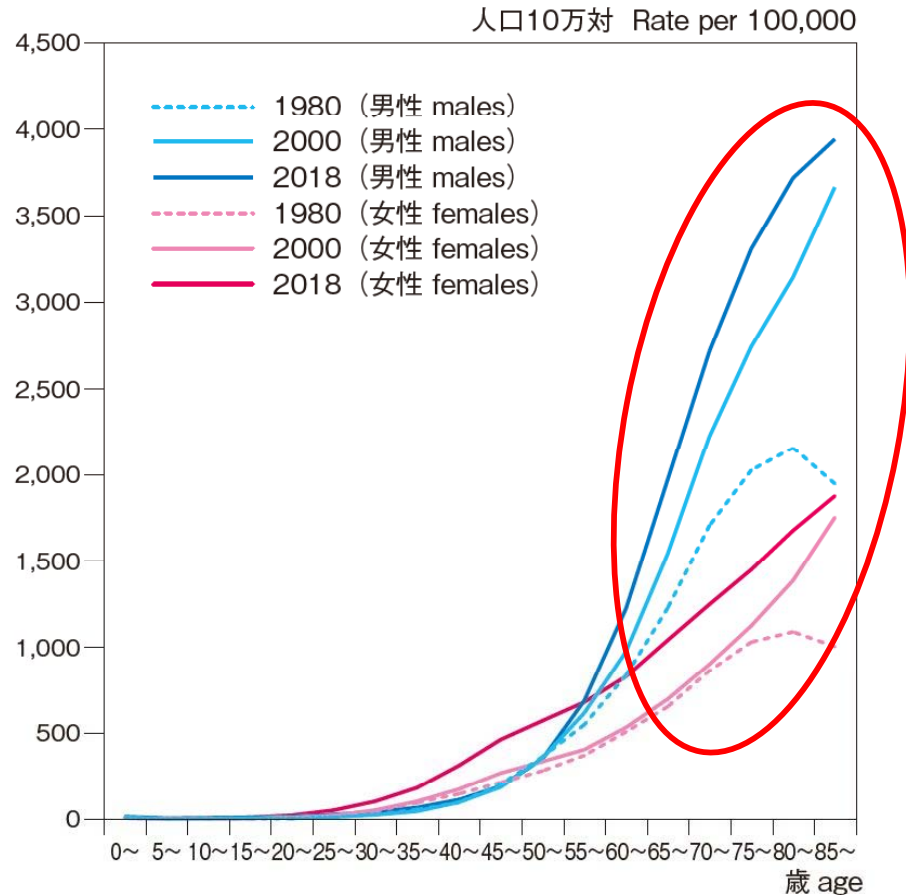
また、15~64歳の生産年齢人口の減少により、労働力が不足するとともに、税収の減少も予想されます。

こうした人口問題においても、デジタル技術を活用することで、業務の生産効率を上げ、少ない職員数でもこれまで以上の市民サービスの提供が求められています。

# 指針策定の背景

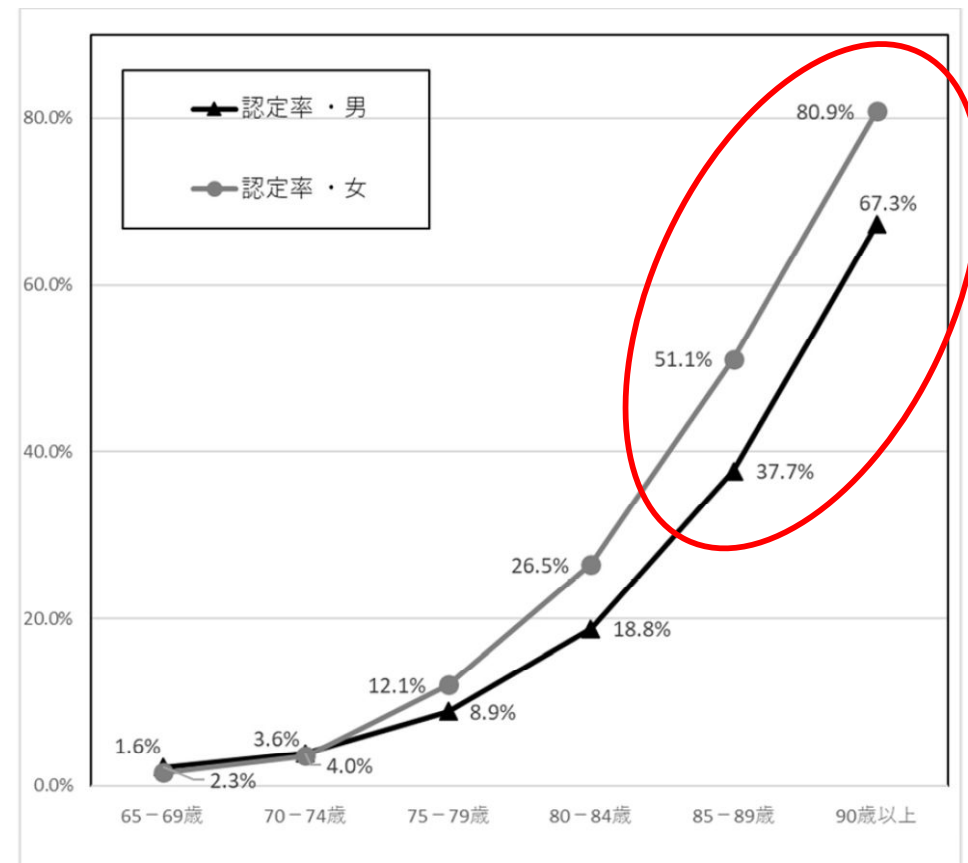
性・年齢階級別にがん罹患率・介護認定率を見ていくと、加齢とともに罹患率・認定率が高くなる傾向があり、高齢化の進展が社会保障費に大きく影響を与えることが分かります。

## 年齢階級別がん罹患率推移



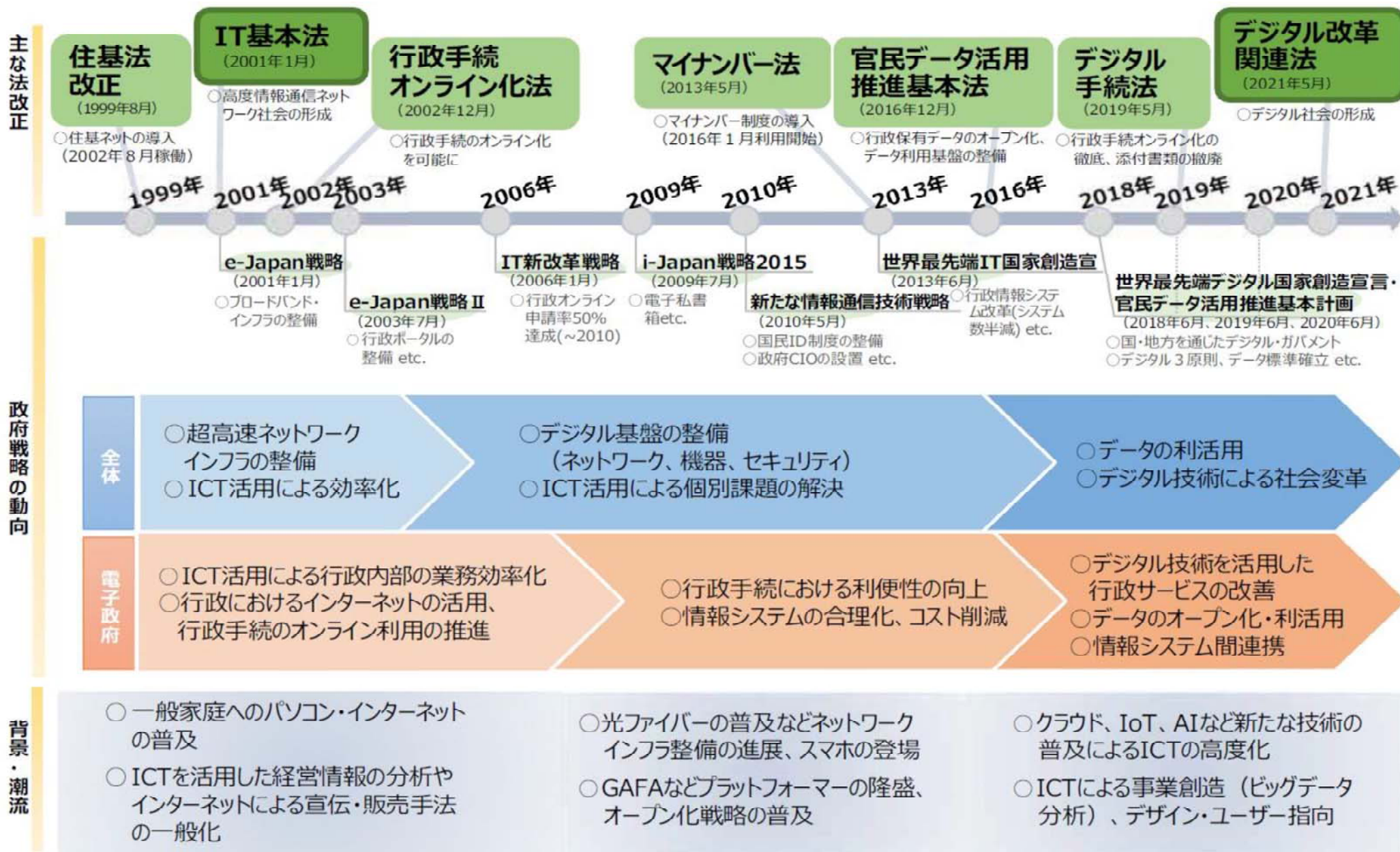
(出典) 公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計2022」

## 年齢階級別の認定率の変化 (白井市)



(出典) 白井市高齢者福祉課「介護保険事業状況報告」

# これまでの変遷 (電子政府・電子自治体からデジタル・ガバメントへ)





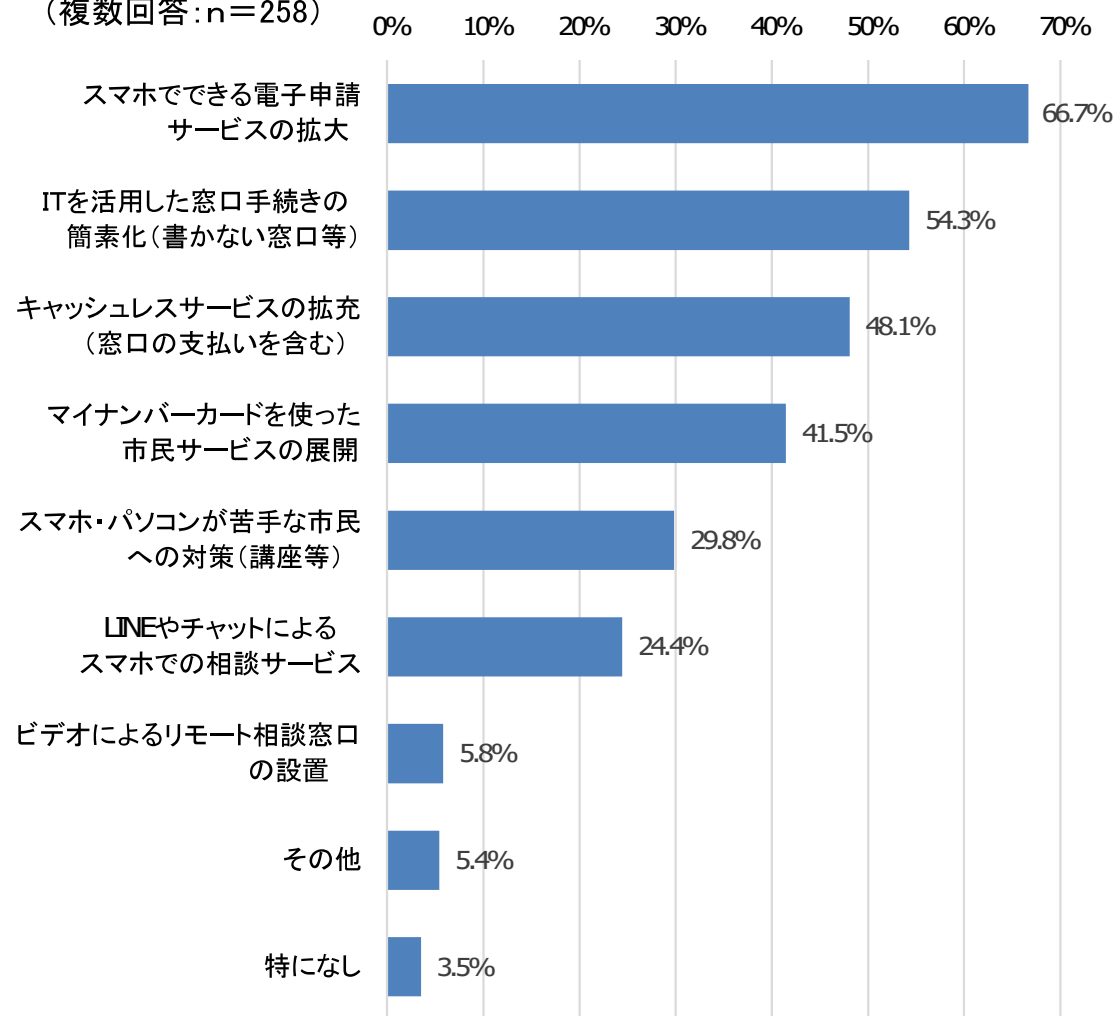
## これまでの変遷（市の取組）

年	これまでの市の主な取組	今後求められるもの
2003	白井市情報セキュリティポリシーの策定 職員1人1台パソコン配置 総合行政ネットワーク(LG-WAN)開始	国「自治体DX推進計画」 （重点取組事項） (1) 自治体の情報システムの標準化・共通化 (2) マイナンバーカードの普及促進 (3) 自治体の行政手続きのオンライン化 (4) 自治体のAI・RPAの利用推進 (5) テレワークの推進 (6) セキュリティ対策の推進 （自治体DXの取組とあわせて取り組むべき事項） (1) 地域社会のデジタル化 (2) デジタルデバイド対策 （その他） (1) BPRの取組の徹底 (2) オープンデータの推進 (3) 官民データ活用の推進
2005	ホームページ作成システム導入 ファイルサーバ導入	
2007	電子申請サービス開始 電子入札システム開始	
2011	メール配信サービス開始	
2012	ファイル転送サービス開始	
2013	統合型GIS開始	
2016	マイナンバーカード交付開始 セキュリティ強靱化 （ICカード認証導入・インターネット切り分け）	
2017	ファイル無害化 セキュリティクラウド開始	
2021	市民用Wi-Fi整備 Web会議・テレワーク開始	

# 職員アンケート調査結果

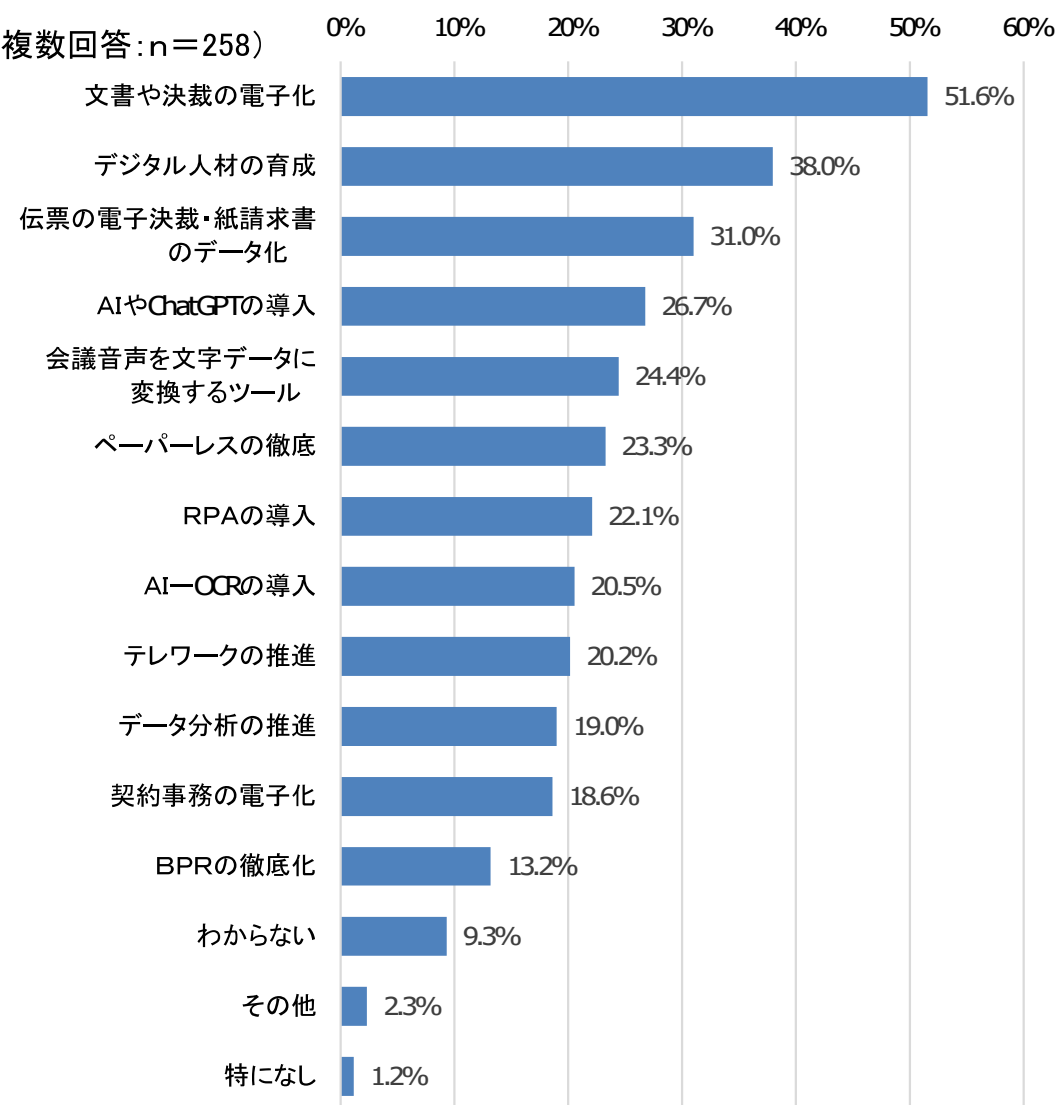
## 市民サービスのDXを進める上で 必要な取組は何だと思いますか？

(複数回答:n=258)



## 市役所業務のDXを進める上で 必要な取組は何だと思いますか？

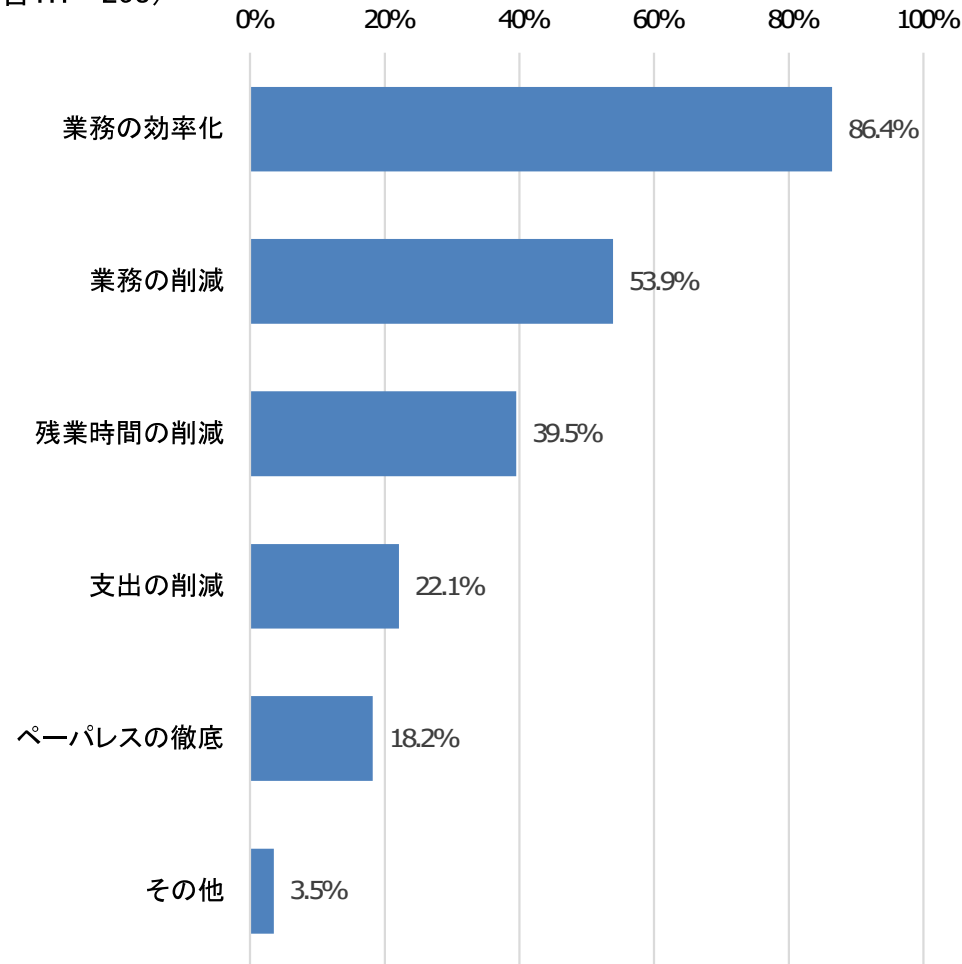
(複数回答:n=258)



# 職員アンケート調査結果

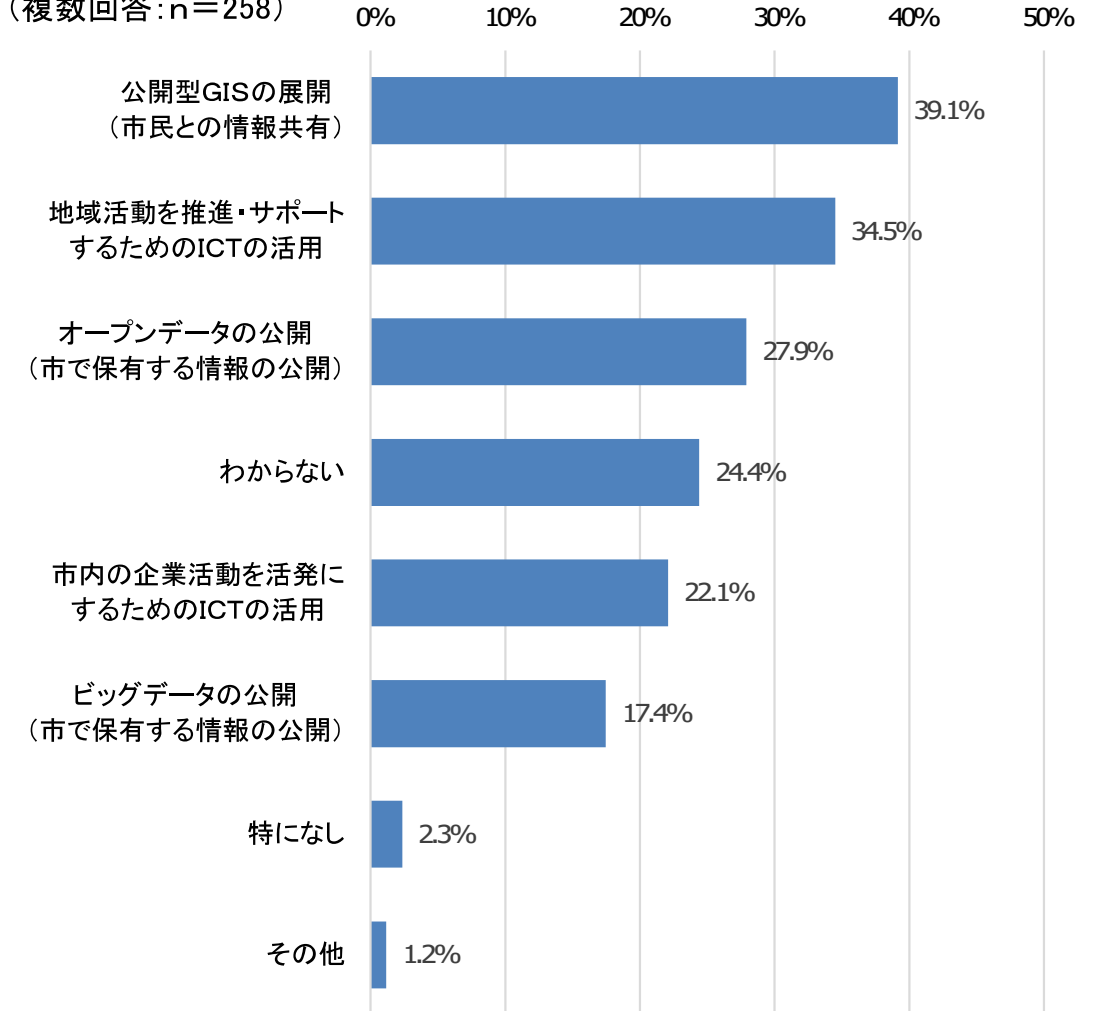
市役所業務のDXを進める上での目標は、  
どれだと考えますか？

(複数回答:n=258)

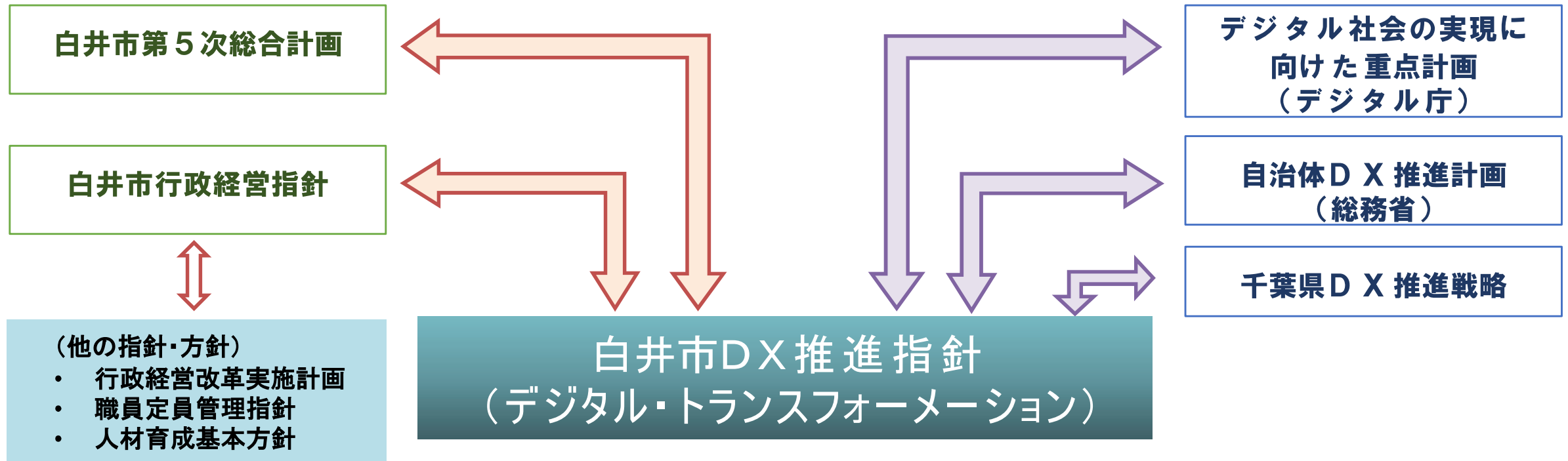


地域や民間企業向けのDXを進める上で  
必要な取組は何だと思えますか？

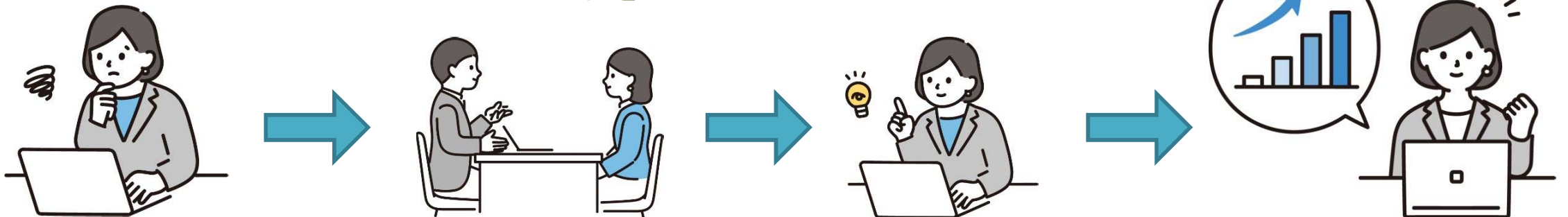
(複数回答:n=258)



# 指針の位置付け



白井市の行政経営を進める上で、デジタル化の取組の方向性を示したもの



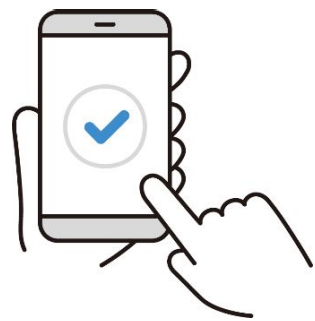
## デジタルで もっと便利な白井市へ

分野ごとにデジタルの視点を取り入れて市役所業務運営を進めます。



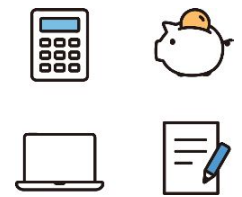
市民サービスの  
DX

市民サービスの向上に  
もっとデジタルの力を！



市役所業務の  
DX

市役所の業務効率アップに  
もっとデジタルの力を！



地域社会のDX

活動を活発にするため  
もっとデジタルの力を！

# 市民サービスのDX

## 視点

スマートフォンやタブレットが便利な時代に合わせ、窓口業務、市民への案内・情報提供など各種市民サービスにおいて、デジタルを活用し、電子申請サービスや市民窓口負担の軽減、SNSなどの情報発信などに取り組んでいきます。

### オンライン申請

自宅からスマートフォンでオンライン申請

#### ◆ 時間や場所にとらわれない行政手続きの推進

- ・ 市役所に来なくても自宅等から行政手続き
- ・ 市民のスマートフォンやパソコン等から申請
- ・ マイナンバーカードの利用による適正な本人確認



### キャッシュレス

市公共施設でのキャッシュレス化の推進

#### ◆ 窓口・オンラインでのキャッシュレス決済

- ・ 各窓口におけるキャッシュレス決済
- ・ オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済

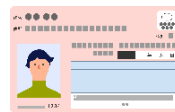


### マイナンバーカード

マイナンバーカードの普及・利活用

#### ◆ マイナンバーカードで手続きを便利に

- ・ 国の計画に基づきマイナンバーカードの普及・促進
- ・ コンビニ交付・オンライン申請等の利活用・推進
- ・ マイナポータルでの情報提供



### 窓口手続デジタル活用

窓口手続きにデジタル技術を活用

#### ◆ デジタル社会の実現に向けた窓口のスマート化

- ・ マイナンバーカード等の読み取りによる入力補助
- ・ 来庁者からの聞き取りによる申請書作成補助
- ・ 事務時間短縮による待ち時間減少



### デジタルデバйд対策

デジタルが苦手な人へも親切に対応

#### ◆ 情報通信技術を利用できる人と利用できない人の格差を最小限に

- ・ デジタルに弱い人にも親切・丁寧な対応
- ・ デジタル機器が苦手な人へ使い方の普及促進



### 情報発信・提供

SNSなどを活用した情報発信・情報提供

#### ◆ 情報を必要とする市民に必要な情報を発信・提供

- ・ LINEやX(旧Twitter)などSNSを活用した情報発信
- ・ マイナポータルを活用した自己情報の提供
- ・ スマホを活用した相談サービス



# 市役所業務のDX

視点

今後の人口減少社会に対応し、少ない職員数でもこれまで以上の市民サービスに努めるため、市役所業務において、デジタルを活用し、国のシステム標準化・共通化対応、定型業務の効率化、AIの活用などに取り組んでいきます。

## システム標準化・共通化

### 自治体の情報システムの標準化・共通化

#### ◆ 基幹系20業務の標準準拠システムへの移行

- ・ 住民基本台帳、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、就学、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、障害者福祉、生活保護、健康管理、児童手当、児童扶養手当、子ども・子育て支援、印鑑証明、戸籍、戸籍附票
- ・ 令和7(2025)年度を期限とした移行
- ・ 政府の調達するガバメントクラウド上への環境構築

## 文書・決裁の電子化

### 紙文書や決裁をデータ化し、ペーパーレス

#### ◆ 行政文書をデジタルで適正管理

- ・ 文書管理をデジタル化し、オフィスをスマートに
- ・ 電子決裁により、決裁をスマートに
- ・ ペーパーレス会議の推進



## デジタル人材の育成

### 自治体DXを支えるデジタル人材の育成

#### ◆ デジタル社会の実現に向けた基本的な知識の習得

- ・ 職員研修によるデジタル知識の強化
- ・ AIやローコードツールなど先進技術の知識習得



## AI・RPA

### 業務の自動化・効率化の推進

#### ◆ AI活用による業務の自動化・効率化

- ・ 文書作成など定型業務をAIで効率化
- ・ 反復する定型処理の自動化
- ・ AI-OCRによる申請書等の文字データ変換



## 業務支援ツール

### 各種業務を支援するツールを活用

#### ◆ 業務支援ツールの活用で、職員の業務負担を軽減

- ・ 音声データを文字データ変換で議事録作成負担を軽減
- ・ AI要約ツールで会議の要点をスマートに整理
- ・ 普段行っている作業をボタン1つで自動処理

## セキュリティ

### セキュリティ対策の徹底

#### ◆ 国ガイドラインに対応したセキュリティ対策

- ・ 国ガイドラインを踏まえた市セキュリティポリシーの見直し
- ・ ガイドライン等に基づくセキュリティ対策  
(自治体情報セキュリティクラウド・三層分離)

# 地域社会のDX

視点

開かれたまちづくりを推進し、自治会活動や企業活動などを支援するため、デジタルを活用し、市で保有する情報の利活用、地理情報システムの活用などに取り組んでいきます。

## オープンデータ

### オープンデータの推進

- ◆市の保有する情報を公開し、各種活動の材料に
  - ・市で保有する情報を積極的に提供
  - ・統計データなどをより公開することで開かれた市政に



## 地域活動支援

### 地域活動の情報を集約し連携強化

- ◆地域活動を支援するコミュニケーションツール(SNS)
  - ・自治会等の困りごとなどを共有し、地域活動を支援
  - ・地域活動に必要な市の情報を共有



## 地理情報システム

### GISで市内の地理情報を市民と共有

- ◆公開型の地理情報システム(GIS)などにより地域活動を支援
  - ・各種行政マップを地域活動でも利用できるよう推進
  - ・各種施設や危険エリアなどの情報を市民と共有



## データ分析(EBPM)

### データに基づくまちづくりの展開

- ◆白井市の情報をデータ分析し、まちづくりに活用
  - ・統計データやアンケートを分析し、市民ニーズを分析





# DXを推進する上での視点

DX推進に取り組んでいくため、次の視点に注意しながら取組を進めます。

## BPRによる事業展開

現在の業務プロセスを調査・分析し、現在あるリソースをフル活用できるよう事業の再構築に取り組んでいきます。

## トライ＆デバッグ

積極的にデジタルツールの活用に挑戦し、エラーやバグ(欠陥)の改善(デバッグ)を行い、市民サービスや業務の向上に取り組んでいきます。

## 優先順位を付けた事業の実施

現在ある資源(ヒト・カネ・モノ)をより有効に活用しながら、費用対効果の高い事業を優先に取り組んでいきます。

## ペーパーレスの推進

DX推進事業を進めることで、紙からデジタルに移行し、ペーパーレスを全庁的に進めていきます。

## 働きやすい職場環境

アナログからデジタルに置き換わることで、オンライン会議やテレワークなど働きやすい職場環境を推進します。

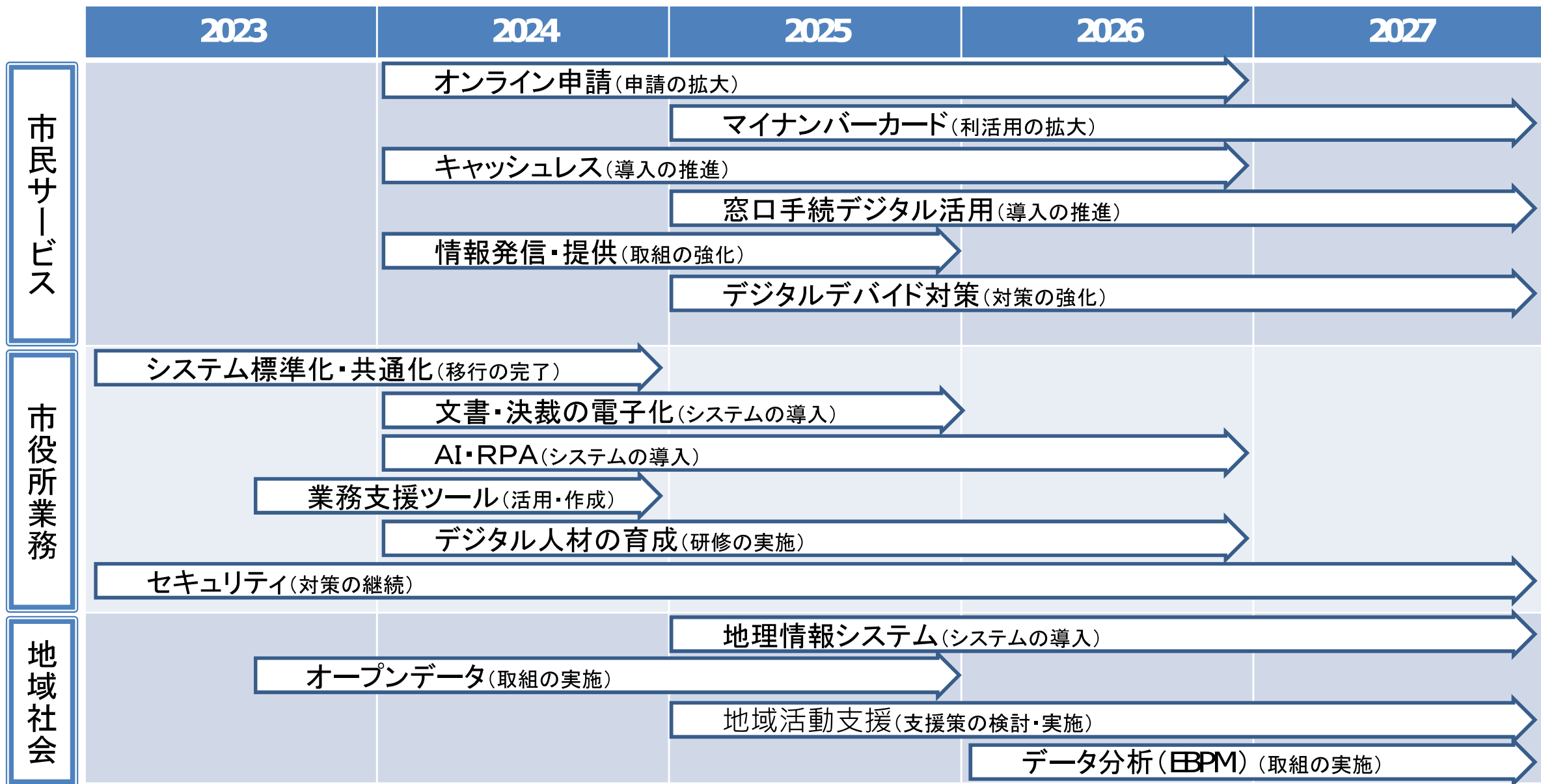
## SDGsの推進

デジタルにより、限りある資源を大切にすることで、持続可能な社会を目指し、継続性のあるまちづくりを推進します。



# 【参考資料】マイルストーン(工程表)

※取組を強化する時期を表記



修正:素案を修正するもの

既記載:既に素案に盛り込んでいるもの

参考:素案には反映できないが今後の参考とするもの

その他:素案には反映できないが意見として伺ったもの

## 「白井市DX推進指針」に対する各課の意見と回答

No	課等名	ページ	意見	意見の取扱い	考え方(回答)
2	市民課	3	DX推進の意義や趣旨等といった内容は明記しないのですか？	既記載	3ページの指針策定の背景を趣旨として捉えています。
3	企画政策課	4	・P4 人口の見通しについて、2015年基準の推計結果となるため、国勢調査結果を2015年まで、推計を2020年からに変更をお願いします。	修正	修正します。なお、社人研の市町村版の最新推計は、令和5年12月以降に公表予定とのことでした。
4	市民課	10	指針の位置づけについて、県のDX戦略には市町村が絡めてあるので、デジタル庁、総務省の下に千葉県をいれてはどうか？	修正	追記します。
5	市民課	12	色々DXのビジョンの内容が書いてあるが、箇条書きでいいのですか？	その他	計画ではなく、指針としてまとめており、アナログからデジタルに変わる印象で今後の方向性を簡潔な表現で表記しています。
6	市民課	13	デジタル人材の育成や不足についての体制整備等はないのですか？	既記載	13ページに表記しています。また、デジタル人材については、職員のレベルアップが進まないことを問題と捉えて表記しています。
7	企画政策課	13	・P13 基幹系20業務の標準準拠システムへの移行について、後期高齢者医療の空欄を詰めるようお願いします。同じ欄で、児童扶養手当の追加をお願いします。	修正	修正します。
8	生涯学習課	13	②個別の事例を避けられたい p13市役所業務のDX 【AI・RPA】◇AI活用による業務の自動化・効率化 について ・定型業務の文書作成にAIを導入するとあるが、定型業務の文書ではAIを導入するまでもなく作成できるのでは？むしろ入力システムの整備の方が有効ではないか？現在の生成AIがオンラインでの使用が前提ならば、個人情報を含む文書はできないのではないか？ ・AI-OCRによる申請書等の文字データ変換とあるが、窓口申請のデジタル活用を推進するならば、手書きの申請は減るのでは？ ・業務支援ツールの項目に入っているAI要約ツールで会議要点をスマートに整理、とあるが、これはAI活用の項目なのでは？ ○費用対効果で業務を選択できるように、具体的事例は避けられたい。 ・定型業務のAIによる自動化・効率化 ・AIによる情報のデジタル化 ・AIによる業務支援 とされた方が、よろしいのではないか？	その他	本内容は、今後市が取り組もうとしていく内容を分かりやすく表現した1例であり、国の方針に沿ったものであるため、原案のままとします。なお、それぞれの項目が密接に関係しているため、一部、重複となる場合があります。

No	課等名	ページ	意見	意見の取扱い	考え方（回答）
9	生涯学習課	13	<p>③ p13【業務支援ツール】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「データ保存体制の構築」を加えられたい</li> </ul> <p>デジタル化に当たってデータのバックアップ・保存・保管方法がより重要になると考える。</p> <p>他市では電子決裁化により、歴史公文書の収集もシステムに組み込み、デジタル化した事例もある。デジタルデータは長期保存できる保存媒体が無く、30年保存できるものは無い。長期保存対策であえてアナログに変換する事例も聞く。</p>	参考	各項目については、今後市が取り組もうとしていく内容を分かりやすく表現した1例であり、計画ではないため、予算の調整を含め、今後検討していくべき事業の1つと考えます。
10	生涯学習課	14	<p>p14地域社会のDX【地理情報システム】について</p> <p>公開型の地理情報システム、となると市ホームページでGISを掲載するように読め、データの変換やサーバーの増強なども課題になるかと思うが、他市ではグーグルマップを活用している事例もあり、白井市でも「白井市の梨園マップ」でグーグルマップを利用している。また散策マップアプリのようにスマートフォン向けの位置情報アプリにすることも選択肢であるので、「地理情報システム」ではなく、「地理情報」のみの表記にされたい。</p> <p>地理情報 市内の地理情報を市民と共有</p> <p>◇地理情報により地域活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種行政マップを地域活動でも利用できるように推進</li> <li>・各種施設やエリアなどの地理情報を市民と共有</li> </ul>	修正	<p>現在、オープンデータの推進の1つとして、公開型GISの提供が課題として上げられており、そこにフォーカスした表現としています。文言について一部、市民に分かりやすい表現に修正します。</p> <p>なお、各項目については、今後市が取り組もうとしていく内容を分かりやすく表現した1例であり、地理情報を含め、これまでの取り組みも継続的に推進していくものとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理情報システム（GIS）により」→「地理情報システム（GIS）などにより」</li> <li>・「危険エリアなど」→「各種施設や危険エリアなど」</li> </ul>
11	生涯学習課	14	<p>④ p14【オープンデータの推進】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市で保有する情報を公開」するだけでなく「市の保有する情報のデジタル化を推進し、公開」とされたい。</li> </ul> <p>※各種文化財情報のデジタル化・公開を推進しているため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民ニーズに合わせた情報提供」の一文を加えられたい</li> </ul> <p>2Dか、3Dか、スマホ向けか、PC向けかでデータが異なるため。</p>	参考	DX推進にあたり、原則、全ての取り組みにおいて、デジタル化の推進が前提となります。また、全ての項目において、市民ニーズに合わせ、事業展開を行うことが前提と考えることから、原案のままとします。
12	企画政策課	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P15 優先順位を付けた事業の実施について、現在ある資産→現在ある資源へ変更をお願いします。</li> </ul>	修正	修正します。
13	生涯学習課	15	<p>⑤ p15 DXを推進する上での視点【優先順位を付けた事業の実施】について</p> <p>【効果的な事業の実施】とされたい</p> <p>費用対効果のみでDXの優先順位を付けるのではなく、費用対効果や法令のみでDXしないことを選択できるようにされたい。</p> <p>※今の文言では優先順位が低くてもDX化するようにも読めるため。</p>	参考	全ての事業展開において、費用対効果の検証は重要な判断基準となることから、原案のままとします。

No	課等名	ページ	意見	意見の取扱い	考え方（回答）
14	市民課	16	工程表の2025年～「マイナンバーカード」の部分は、利活用を追加してはどうか？	修正	マイルストーンは、指針ではなく参考資料として表記しているものですが、「マイナンバーカード」については、利活用が今後の課題と捉えられますのでカッコ書きの表記を追記します。
15	市民課	16	工程表「セキュリティ」具体的にセキュリティポリシーの見直し目標年度を決めてはどうか？	その他	マイルストーンは、指針ではなく参考資料として表記しているものですが、「セキュリティ」については、常時対策が必要であることから長期間の線を引いています。また、セキュリティポリシーの見直しについては、1、2年中に見直しを進める予定です。
16	企画政策課	16	・P16 いつ、どこで、何をやるかが分かりにくい。（導入なのか、検討なのか）	修正	マイルストーンは、指針ではなく参考資料として表記しているものですが、分かりやすくカッコ書きの表記を追記します。
17	企画政策課	16	・P16 継続事項と取組強化事項が混在していて分かりにくい。	修正	マイルストーンは、指針ではなく参考資料として表記しているものですが、分かりやすくカッコ書きの表記を追記します。
18	企画政策課	16	・P16 オンライン申請→オンライン申請の拡大、マイナンバーカード→マイナンバーカード利活用の拡大、キャッシュレス→キャッシュレス化の推進、AI・RPA→AI・RPAの活用、業務支援ツール→業務支援ツールの活用、セキュリティ→セキュリティ対策の徹底、地理情報システム→地理情報システムの公開、オープンデータ→オープンデータの推進へ変更をお願いします。	修正	マイルストーンは、指針ではなく参考資料として表記しており、表記については、P12-14の表記と合わせているところですが、分かりやすくカッコ書きの表記を追記します。
19	企画政策課	16	・P16 情報発信・提供の矢印を2027まで延ばすようお願いします。	参考	カッコ書きで文言を追記することとしましたので、原案のままとします。
20	市民課	-	用語の説明が無いのであったほうがいいのか？	参考	公表等行う際には用語の説明を追記します。
21	生涯学習課	-	組織名はきちんと書かれない。白井市役所なのか、白井市なのか。混在している。そもそも「白井市役所」という組織は存在しない。	その他	市民に分かりやすい表現として使用しているため、原案のままとします。